

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 23日

事業所名 Annie's House

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		元里がよりよく元えるスペースを整え日々の環境整備をしている。	引き続き、整理整頓や児童の成長を配慮しながら適したスペースづくりの工夫を行うようにしていく。
	2	職員の配置数は適切である	○		看護師2、保育士1、児童指導員1、運転手1、児発管1理学療法士1を配置。	基準を満たしているが、今後もこのまま基準配置が保持出来るよう努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーである。	今後は発達に応じて、適切な生活空間であるかななどをスタッフとミーティングを持ちながら検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的な職員ミーティングにて見直しや振り返りを行っている。	今後も継続的にミーティングを行い、皆が積極的にPDCAサイクルに取り組めるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	アンケート調査は実施していない。	日々の相談等の受けることが出来るようにはしているが、今後はアンケートの成作と実施を検討する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	ホームページがない状況であったため公開出来ていない。	R53月より自社ホームページが出来たため、これからは公開していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		モニタリングの実施や各サービス事業関係者と情報共有し改善に努めている。	第三者委員会によるものは実施していないため、今後は何らかの形で実施出来るよう努めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		△	職員人数の問題で外部研修は行えていないが、内部研修は行っている。	今後は職員のスキルを上げるために、一つでも多く外部研修に参加できるように時間作りをしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者と児童のニーズを情報収集し計画書作成している。	保護者や児童からのニーズや、相談支援員や訪問看護などからの情報収集を引き続き行い、計画書に反映出来るようにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		△	重症心身障害児の為適応行動の把握が難しい。	標準化されたアセスメントツールを活用できる児童には使用し、より良い支援が出来るよう努めていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員で季節ごとや個々の活動プログラムを立案している。	今後も引き続き継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		インターネットを活用し活動プログラムを情報している。	今後も引き続き継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		日頃できないことや、野外活動などを計画し行っている。	今後も引き続き継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		障害や身体症状を踏まえて個別や集団での支援計画書を作成。	今後も引き続き継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前の10分間程度のミーティングで支援内容や役割について確認している。	今後も引き続き継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に10分程度の報告や反省会を行っている。	今後も引き続き継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録を付け、支援に繋げるようにしている。	今後も引き続き継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回のモニタリングの実施により、支援計画書の見直しを行っている。	今後も引き続き継続していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドラインに基づき活動を行っている。	今後も引き続き継続していく。

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		看護師と児発管が参加している。	今後も引き続き継続していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		毎月学校に児童の利用予定表をFax送信し、各学年の下校の時刻を学校より頂き確認出来ている。	今後も引き続き継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医との連絡を行い指示を頂いている。	今後も引き続き継続していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		電話や書面による情報共有を行っている。	今後も引き続き継続していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当児童がいない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		療育センターの専門職職員との連携を持ち、助言をもらっている。	今後も引き続き継続していく。また、研修などあれば参加をしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	重度心身障害児、医療ケア児が対象であり、機会を作れない現状。	障害のない児童との交流の機会があれば、交流の時間を作れるよう検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	地域自立支援協議会の参加をしていない。	今後は地域自立支援協議会の参加の機会があれば参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を基本として児童の状況を伝えている。また電話やメールで伝えることもする。	今後も引き続き継続していく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	保護者と事業所の時間が合わず、出来ない。	職員人数や保護者の時間が取れずできていない状況。今後の課題として検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に時間を設け説明している。	今後も引き続き継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時及び連絡帳、電話、メールにて相談を受けれる体制をしている。	今後も引き続き継続していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会を開催していない。	今後は保護者会を開くことが出来るよう努めていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情や問題があれば、翌日に職員会議を設け必要であれば、保護者も参加頂くようにしている。	今後も引き続き継続していく。保護者だけでなく必要あれば、他関係機関の参加もお願いしていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月行事等の会報を配っている。	今後も引き続き継続し、ホームページも活用していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報に関する同意書を職員と保護者に説明し取っている。	今後も引き続き継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者からの情報を基に表情や言語等を観察し意思疎通を行っている。	成長とともに変わる情報伝達についても、保護者と一緒に今後も情報交換しながら意思の疎通が行えるよう努めていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	日々の医療ケアなど細かくがあるため、外部を招くまで出来ない。	時間を作ることが難しいが、機会があれば地域との交流ができることを検討したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	△	職員は緊急時を想定した訓練や勉強会を行っているが、保護者には出来ない	職員については引き続き継続していく。 保護者については機会があれば検討する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年2回の避難訓練を行っている。	今後も引き続き継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	△	入社時や年1回の虐待に関する勉強会を行っている。	今後も引き続き継続していく。外部研修も受けることが出来る時間を作っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	△	保護者に、身体の危険を伴うような場合等のやむを得ないときに一時的な拘束があることを説明しているが、現在まで該当児はいない。	今後も引き続き継続していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アレルギーの有無の確認と、主治医からの指示書を準備している。	今後も引き続き継続していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット報告書の提出と、朝の朝礼で報告し注意喚起を行っている。	今後も引き続き継続していく。